

第 32 軍司令部壕保存・公開検討委員会
平和発信・継承検討グループ第 2 回会合 議事概要

日 時：令和 5 年 1 月 27 日（金）

午後 2 時～午後 4 時

会 場：自治研修所 4 階 401・402 研修室

—— 【平和発信・継承検討グループ委員】 ——

法 律	玉城 辰彦	ていだ法律事務所 弁護士
経済／観光	下地 貴子	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部受入推進課アドバイザー
沖縄戦研究	吉 浜 忍	沖縄県史編纂委員会 委員長
戦跡文化財	大城 和喜	元南風原文化センター 館長
地域振興	宮良 吉雄	首里自治会長連絡協議会桃原町自治会長
平和教育	仲泊 和枝	(特非)沖縄平和協力センター 理事長
情報発信	山田 一誠	(一財)沖縄 IT イノベーション戦略センター 専務理事

—— 【事務局】 ——

沖縄県子ども生活福祉部／女性力・平和推進課／保護・援護課
沖縄県知事公室／特命推進課
沖縄県土木建築部／都市公園課
沖縄県教育庁／文化財課
沖縄県教育庁／県立学校教育課
那覇市／平和交流・男女参画課
日本工営株式会社

—— 【議事概要】 ——

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和 4 年度の取組に係る進捗状況等について
 - (2) 意見交換・質疑応答
- 3 議事事項
 - (1) 保存・公開に向けた提言の策定について
 - (2) 意見交換・質疑応答
- 4 閉会（事務連絡）

【報告事項に関する意見交換・質疑応答】

○戦跡文化財 大城委員

- ・ 第5坑口周辺土地は何㎡なのか。また、どのような形状で建物は建てられるのか。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 2筆合計で2207㎡。形状は複雑で綺麗に整備されている形ではない。平地ではないので現状のままでは厳しいと思う。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 第5坑口周辺土地について言葉での説明だけでなく、図面を示して欲しい。

○法律 玉城委員

- ・ 第5坑口周辺土地の利用目的や方法が考えられるのであれば、追加資料でもよいので、追加的な意見を委員の皆さんに伺った方がより建設的だと思う。

○情報技術 山田委員

- ・ 情報発信の場合に、ウェブサイトを作るのと同じくらいどう伝えるかも大事。
- ・ たくさんの方々に見てもらうために、どういう手法を考えているのか。

○平和教育 仲泊委員

- ・ 情報発信のところで4月から公開をしようと思うが、情報発信するコンテンツはどういうものなのか。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 制作中の専用ホームページは、第32軍司令部壕に関する壕の延長や位置など基礎的な情報、保存公開に向けて行っている県の取り組み、詳細調査の取り組み状況等について情報発信を行いつつ、取り組みを進めていく中で、随時、内容を充実させていく。

○法律 玉城委員

- ・ 第5坑道の水の対策は必要だと思うが、所有者の国とはどういう調整をしているのか。
- ・ 調査を行う時には人手が必要だと思うので、傷害保険等で対応する必要がある。

○沖縄県知事公室特命推進課（事務局）

- ・ 首里城を含む地下水調査等は、関係機関からの許可を得て実施している。
- ・ 作業員が坑道内で掘削等の作業を行う場合には保険等も今後、確認をしながら発注を検討する。

○地域振興 宮良委員

- ・ 第1項口・坑道の位置特定の見通しはいつ頃か。

○沖縄県知事公室特命推進課（事務局）

- ・ 第1坑口を確認することはできなかった。
- ・ ボーリング調査を2か所で実施しており、1か所は完了しているが、各情報の確認し、技術系委員の意見も伺いながら、次回の委員会で報告ができればと思う。
- ・ 2か所目のボーリング調査結果とデータを合わせることにより、坑道の方向性が推定できると考えており、おおよその坑口の位置を絞り込むことができると考えている。

○戦跡文化財 大城委員

- ・ 南風原壕の出口付近を掘って、薬品がたくさん出てきたように、第5坑口周辺土地についても、壕の外にも何かの跡があるかもしれないので、文化財の担当者は留意してほしい。

【議事事項に関する意見交換・質疑応答】

○法律 玉城委員

- ・ 安全性の確保で絶対と言い切るのは難しいので、安全性の前に「可能な限り」、或いは「可及的」を加えればよいと思う。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 「組織的戦闘の最後の砦」という表現は、摩文仁にも司令部があったので違和感がある。
- ・ 住民側、県民側から32軍をどう見るか、それを判断した上でどう発信するのがコンセプトだと思う。
- ・ 32軍を語る上で大事なものは「持久戦」。5月22日に南部撤退を決めた。このことが沖縄の人達、住民の犠牲を大きくした。本来、首里で戦闘を終わらせてもよいが、1か月あまり延びている。ある意味で沖縄戦の実相の大事なところである。それを議論して決めたという場所なので、「持久戦」という言葉は入れないといけないと思う。
- ・ 「組織的な持久戦を展開した第32軍の軍事的中枢施設としての役割を果たしている」という表現に修正することを提案する。

○法律 玉城委員

- ・ 最終の抵抗戦という表現ではどうか。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 沖縄戦の経過を厳密に検討すると首里は最後の抵抗戦ではない。逃げた後も抵抗している。俗に沖縄戦で最後の抵抗というのは八重岳攻防戦。
- ・ 32軍壕で何が話し合われたのか。沖縄戦の悲劇を決定づける南部撤退が話し合われている。だからそれは持久戦を徹底すること。結果、南部撤退をして1か月以上も持たせるということ。
- ・ 具体的にその場所の持つ意味というのをここではっきり押さえるため、「最後の砦」や「旧日本軍」という文言は削除し、広くあまり拡散しない方がよい。

○平和教育 仲泊委員

- ・ この指令部壕で何があったのかは公開する時に必要なコンテンツだと思う。
- ・ 第 32 軍司令部壕は、戦争を指令した場所なので、何が話し合われて持久戦になったのかを伝えることが重要だと思う。
- ・ 壕の果たした役割というと戦争を肯定している感じで、プラス思考の感じがするのでこの文言を変えた方がよいと思う。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 壕が沖縄戦とどう絡んだのか。ここ壕には指令長官司令官も含めて将兵が 1000 名もいるので、新しい作戦の何かが決定されて、その結果どうなったのか。「壕の何々の意味」という言葉に足した方がよいと思う。

○経済／観光 下地委員

- ・ 壕が有している暗闇や自然環境は真っ暗という言葉が出ているが、必ずしもずっと真っ暗ではないのでこの言葉を削除してよいと思う。

○法律 玉城委員

- ・ 絶対的というのが、第 4 章の 1、壕内の安全確保というところのポツの 3 番目で使われていて、絶対的というのは言い変えたほうがよい。「安全性の確保を可能な限り行い」という表現にした方がよい。

○戦跡文化財 大城委員

- ・ ロードマップに令和 6 年度から有識者委員会とあるが何をするのか。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 令和 6 年度の有識者委員会については、知事への提言を踏まえ令和 5 年度に県の基本方針を策定する。令和 5 年度末から令和 6 年度にかけて、県の基本計画策定を予定しているが、その時に新たな有識者委員会を設置することを想定している。
- ・ 基本計画の内容は、基本方針をより具体的にした計画を立てることになる。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ ロードマップの 4 (1) の文献資料等を活用した平和発信・継承の所でワーキンググループという名称があるが、新しく作るということか。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 新たにワーキンググループを設置することを予定している。
- ・ 次年度から証言や文献資料等について、収集などを行っていく予定としており、編さんグループのようなイメージで新たに設置することを予定している。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 証言収集や文献資料収集は県公文書館である程度終わっているが、ガイドブックレベルのものを作らないと、部分的にしか分からない。
- ・ より立体的な32軍壕の史実を描いて、編集するレベルまでいかないと、収集だけでは求めているものが違う。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 令和5年度から証言の収集、文献資料の収集等を始めて、ワーキンググループを設置し情報発信をしていくので、文言等についてもその中で検討することを予定している。
- ・ 令和6年度に基本計画を策定するので、編さんワーキンググループをどういう形で持っていくのか等については、基本計画を策定する中で盛り込んで検討する。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ ロードマップにシャフトも追加してほしい。
- ・ 第1から第5坑道の中で、現在、第1坑口を探しているが、第4もわからないので、第4坑口・坑道の位置確認ぐらいはやってほしい。
- ・ 調査したという事実を残して欲しい。結果がわかれば一番よいが、やらないで未定のままでは問題があると思うので、シャフトと第4坑口の位置確認調査をお願いしたい。

○知事公室特命推進課（事務局）

- ・ シャフトにいて、今年度も調査をしたが、発見できなかった。次年度以降も探せる方法があるかどうかを含めて検討する。
- ・ 第4坑口・坑道について、次年度以降、調査対象として検討する。
- ・ 技術検討グループ会合の中で第4坑口・坑道について、調査資料として検討対象にしているので、その中でロードマップに含めるか否かを検討する。

○経済／観光 下地委員

- ・ 海軍壕でも遺骨の収集が行われ、たくさんのご遺体が出ているが、第5坑口周辺土地でも遺骨収集の予定があるのか。
- ・ 第5坑口近くに何年公開予定と看板を立てると早い情報発信になると思う。
- ・ ガイドの育成はすぐにはできないので、ロードマップの中にガイドの育成を落とし込んで欲しい。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ ガイドの養成については重要だと考えており、関係機関との調整等を次年度から行うことを考えている。
- ・ 早い情報発信にも取り組んでいく。

○子ども生活福祉部保護・援護課（事務局）

- ・ 遺骨収集の件について、実際に発掘されてからどのような対応をするかを厚生労働省と調整をして対応を検討する。

○経済／観光 下地委員

- ・ 次年度以降の予算の見通しについて、県単ではもたないと思うので予算のことが心配。

○子ども生活福祉部女性力・平和推進課（事務局）

- ・ 次年度の予算については、ロードマップの令和5年度の各項目に書かれている内容で要求している。

○法律 玉城委員

- ・ 文化財指定の取り組みはロードマップでは短期や中長期のどのあたりで、どういうことを文化財指定として考えているのか。

○教育庁文化財課（事務局）

- ・ 文化財指定に関しては、連携して取り組んでいくが、調査中ということで、その状況を見て連携を密にして対応していく。現時点でどの時点で入るかは坑道の調査が終わり、関係各課と連携しながら対応していく工程になると思う。

○平和教育 仲泊委員

- ・ 住民の視点だけではなく、展示活動には戦争を起こさせた側の考え方も入れるべきと思う。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 加害の視点だと非常に難しくなる。住民視点に立つとそこから見えてくることがいろいろあるので、住民視点でよいと思う。

○法律 玉城委員

- ・ 沖縄戦の特徴というのは住民を巻き込んだ戦争なので、住民視点という意見に賛成である。

閉会